

# 大阪医科大学看護学部卒業生へのアンケート調査 要約 (2018年9月実施)

看護学教育センター

看護学部就職支援委員会

## 1. 調査目的

- ・ 大学における教育内容やサービスの改善などのため、卒業生に対し、在学中に受けた教育内容やサービス等が現在の仕事に活かされているかなどについてアンケート調査を行い、教育改善の参考資料として活用する。

## 2. 調査期間

- ・ 2018年8月29日(水)～9月12日(水)

## 3. 調査対象

- ・ 2016年度(以下2年目)と2017年度(以下1年目)卒業生93名。

## 4. 調査方法

- ・ 留置法を用い、マークシート方式の選択回答による無記名自記式質問紙調査を行った。管理者に本学卒業生への配布を依頼、封筒に入れ設置された回収箱で個別に回収した。対象者には本調査目的以外には使用しないこと、個人を特定しない旨、依頼文に明記した。

## 5. 調査項目

- ・ 対象者の特徴(入学年度、取得免許)、2)看護実践能力の自己評価、3)本学における社会資源(サービス)の活用状況、4)今後のキャリアアップ、5)学部教育での学び、6)進路・就職サポート、7)看護学部において改善を必要とすることや期待すること。

## 6. 調査結果の概要

卒業生93名中63名(回収率67.7%)回答が得られた。回答内容から卒業生の大学における教育内容やサービスの改善等の以下の課題が明らかになった。

- 1) 看護実践能力の自己評価については、看護実践能力のうち、正確な知識や技術、基本的、対象の特性に合わせた看護実践、緊急時の対応については、「できる、どちらかというところ」の割合が半数に至っていなかった。教育と臨床現場への移行をスムーズにし、いかに乖離を少なくするか、卒業時の看護実践能力到達状況の自己・他者評価による可視化や就職先との連携が課題である。
- 2) 今後のキャリアアップでは、多くの対象者がキャリアアップの希望を持っており、大学において卒業後の学生がキャリアアップに関する相談ができる場や情報収集できる環境を整えるなど、引き続きサポートを行っていく必要がある。
- 3) 学部教育での学びでは、教育目標に即した学びをしていた。しかし、国際的に通用する能力、地域社会の状況・変化を学ぶについては今後さらに改善していく必要がある。
- 4) 進路・就職サポートの課題として、キャリアサポートルームの活用促進を含め、学生に対して就職や進学の情報提供や発信方法を学生のニーズを把握しながら検討する。
- 5) 改善を必要とすることや期待することでは、特に「教育カリキュラムの充実」「臨床・臨地との協力」「図書館の充実」が高かった。これらについてさらなる改善を行っていく必要がある。

以上より、本調査結果を学部教育改善に生かすと同時に、卒業生へさらなる情報発信、ネットワークをつなげていき、ニーズにあった支援内容や相談窓口などを検討していくことが重要である。今後多くの卒業生への調査や、就職先の看護管理者・教育担当者に対する調査を行い、多面的な視点で継続的に検討する必要がある。

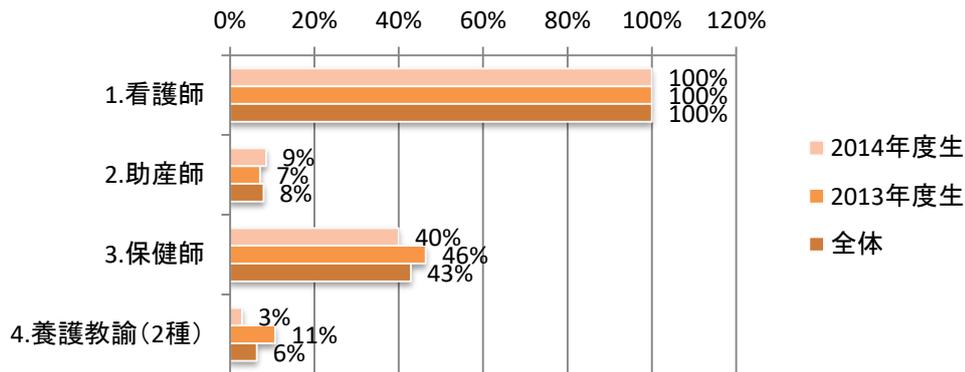
## 大阪医科大学を卒業生へのアンケート調査結果

### 問1 あなた自身について

#### ① 入学年度

1. (2012年度) 0人
2. (2013年度) 28人
3. (2014年度) 35人

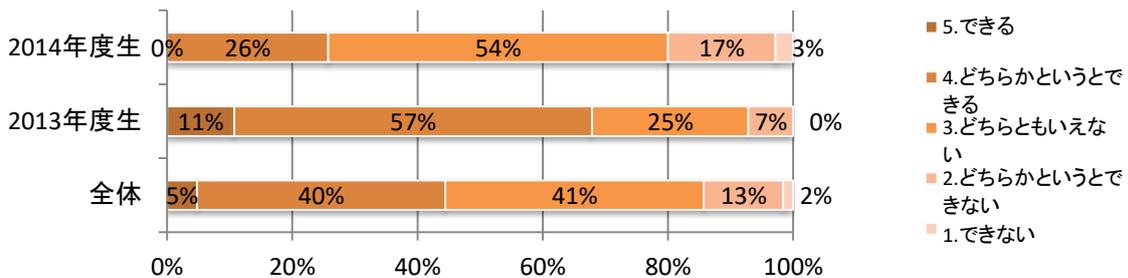
#### ② あなたが取得している免許を教えてください。(複数回答可)



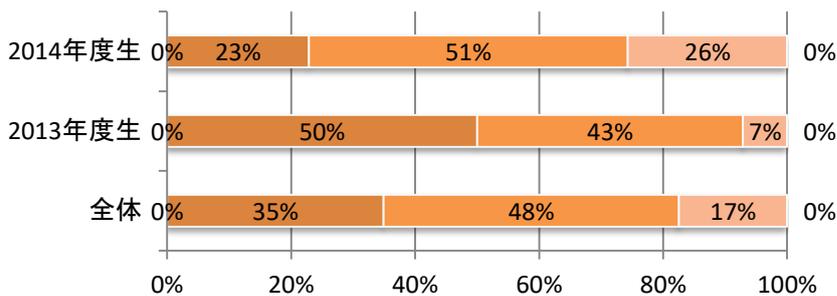
### 問2 看護実践能力の自己評価について

あなたの現在の看護実践能力について評価してください。

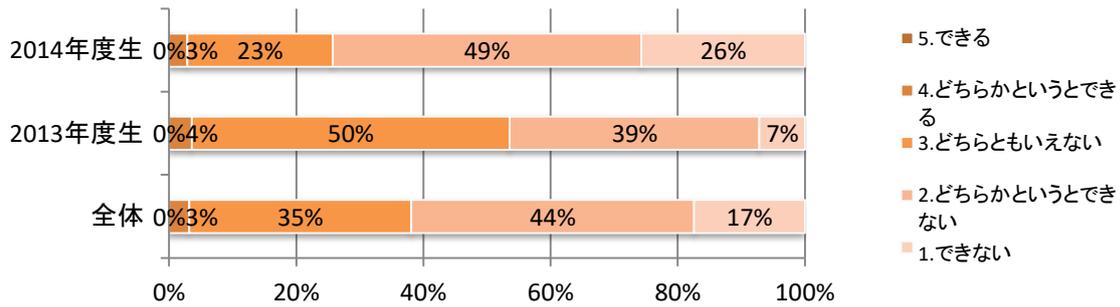
#### ① 正確な知識や技術と、対象に安全で基本的な看護実践をすること



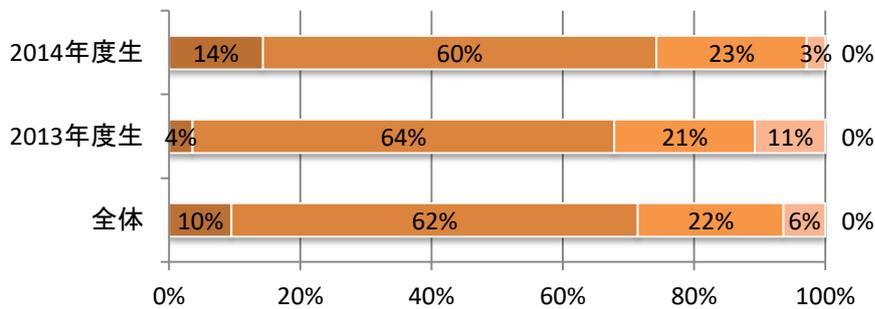
#### ② 問題解決に向けて、対象の特性に応じた看護を実践すること



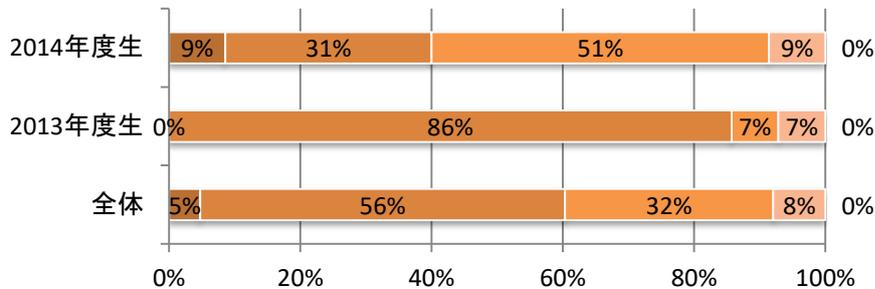
③ 緊急時の対応をすること



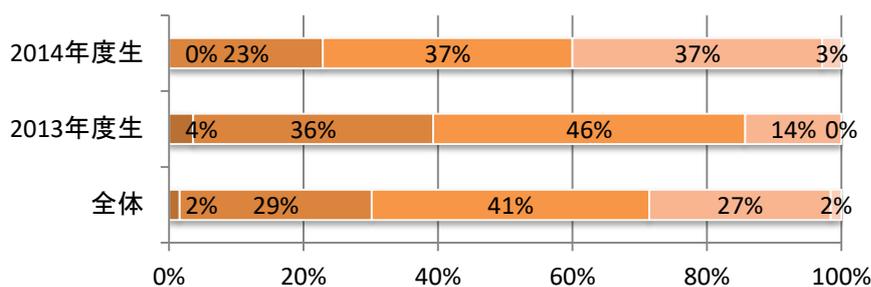
④ 看護実践や自己の成長のために、他者の支援を求めること



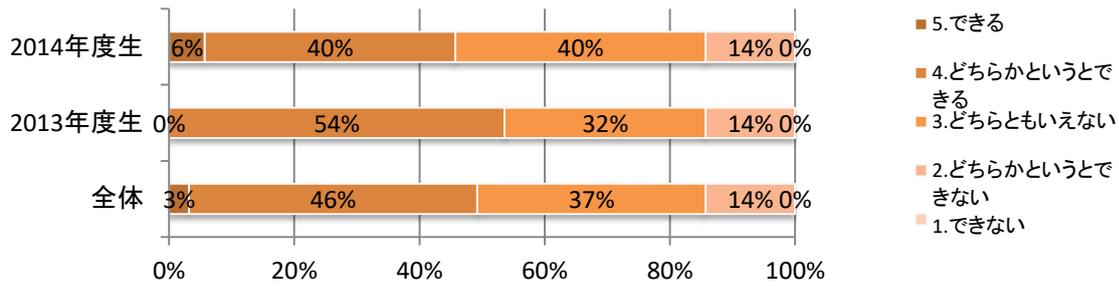
⑤ チームの一員として自分の役割を認識した行動をとること



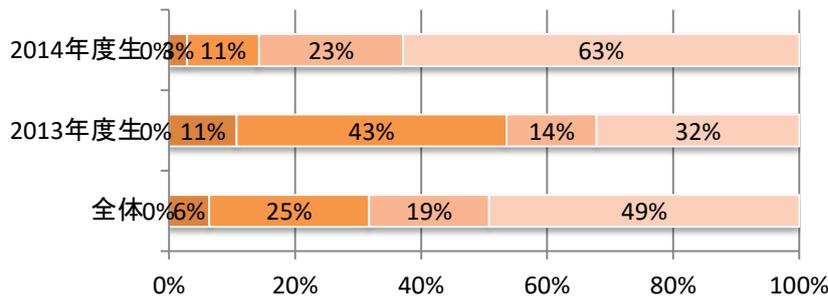
⑥ 日常業務の中で問題提起をすること



⑦主体的に学習の場を求め、自己の課題に取り組むこと

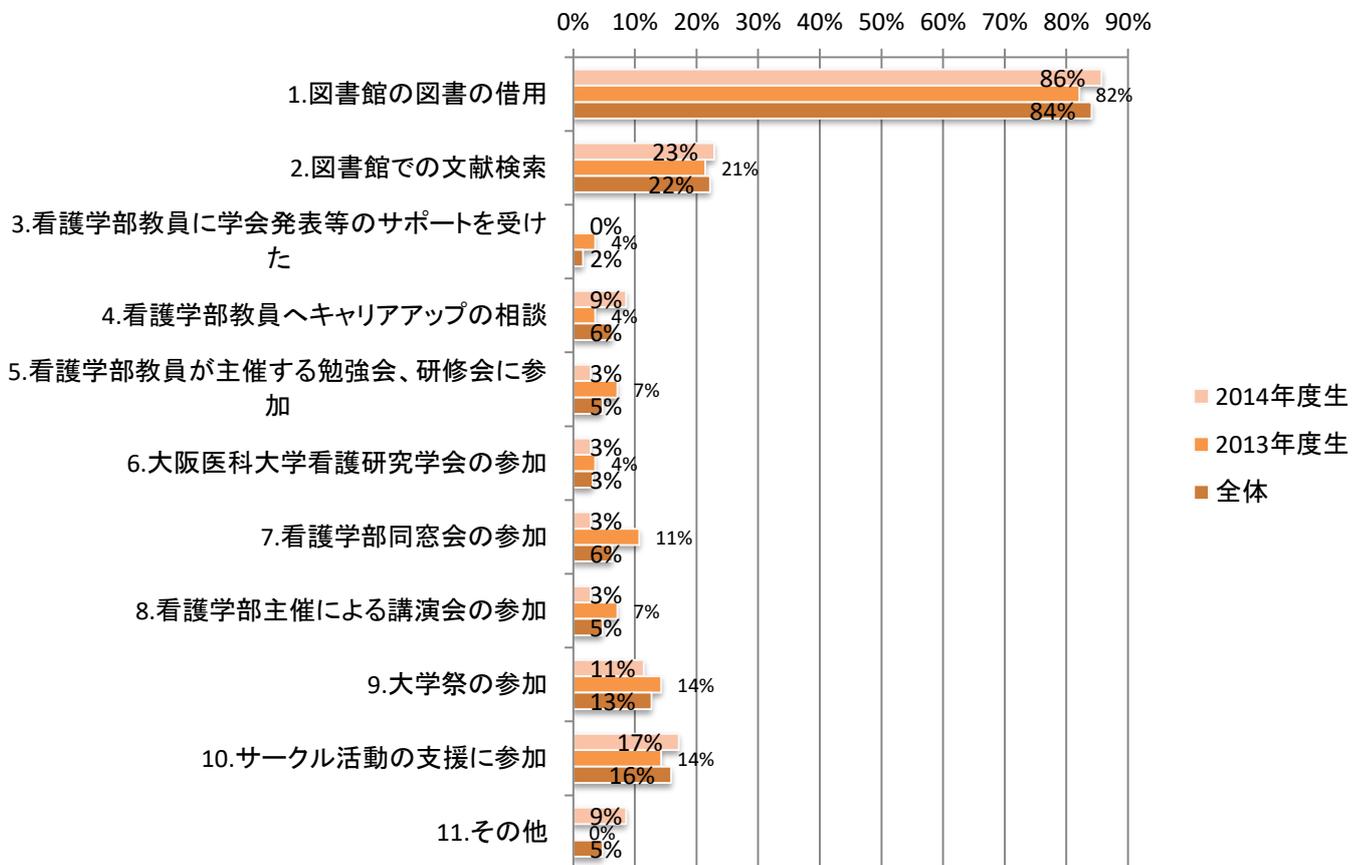


⑧ 後輩や学生を指導すること



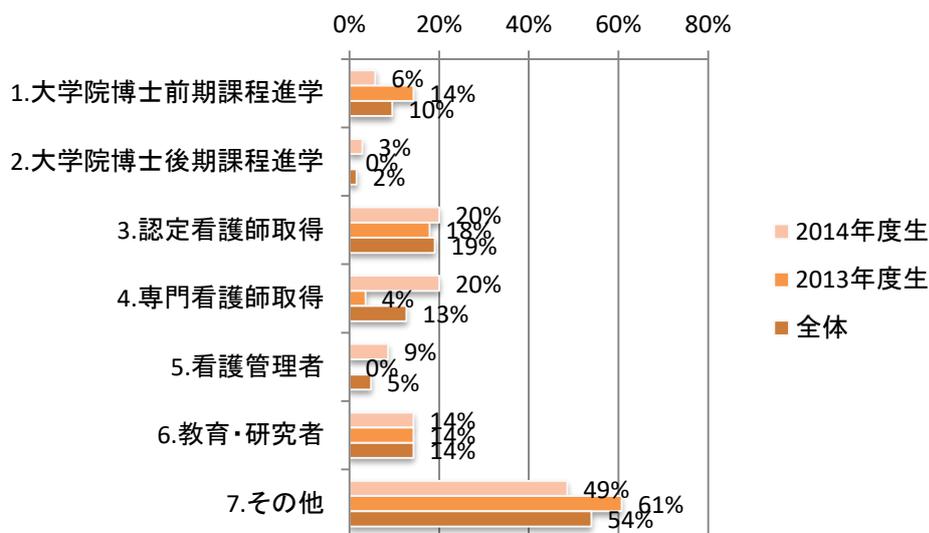
問3 本学における社会資源（サービス）の活用状況について

本学における社会資源（サービス）の活用状況について教えてください。（複数回答可）



#### 問4 今後のキャリアアップについて

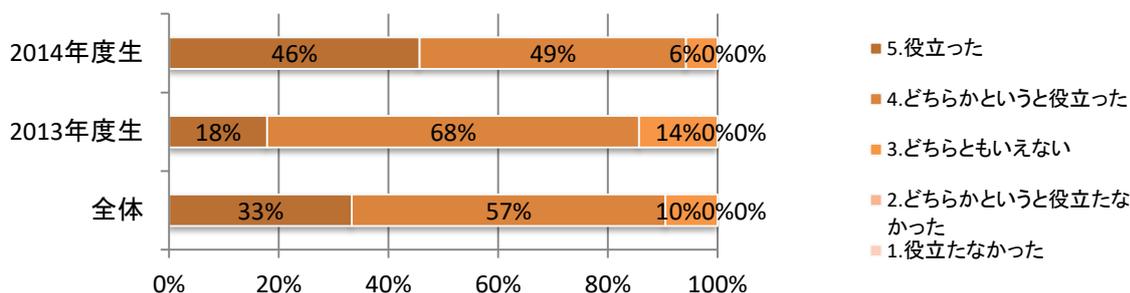
今後のキャリアアップの希望について教えてください。(複数回答可)



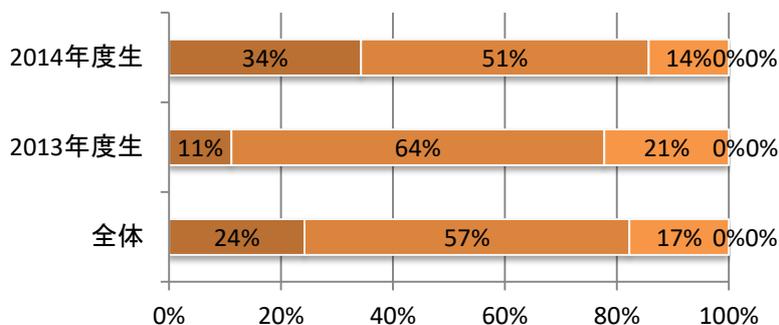
#### 問5 学部教育での学びについて

本学では下記の項目を目標に学部教育を行っております。これらの学びが臨床の現場で役立っているかお答えください。

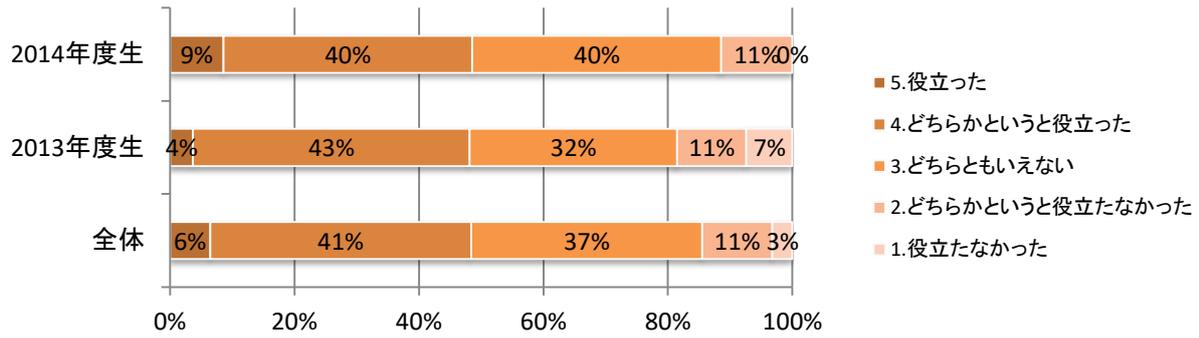
##### ①人間の生命、人間としての尊厳及び権利を尊重する



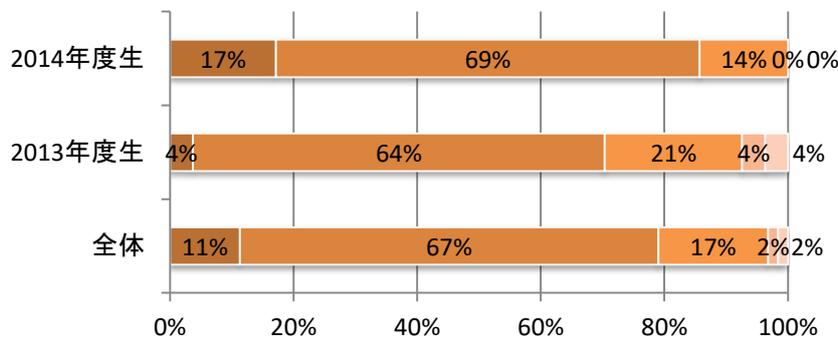
##### ②多様な文化を持つ人々の生き方や価値観を尊重できる豊かな人間性を育成する



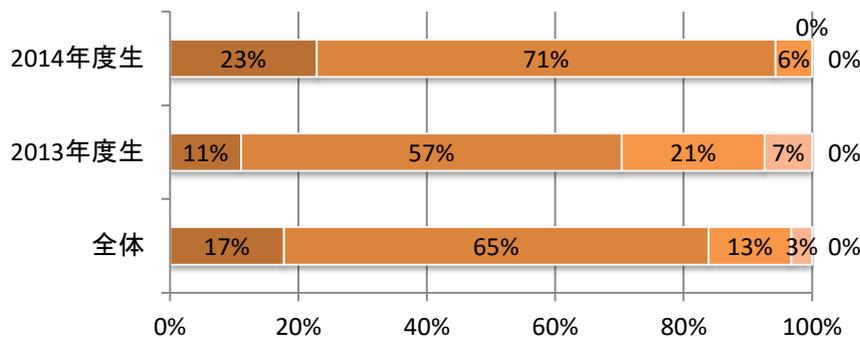
③ 看護学の分野で国際的に通用する新しい知識や技術を創造できる能力を育成する



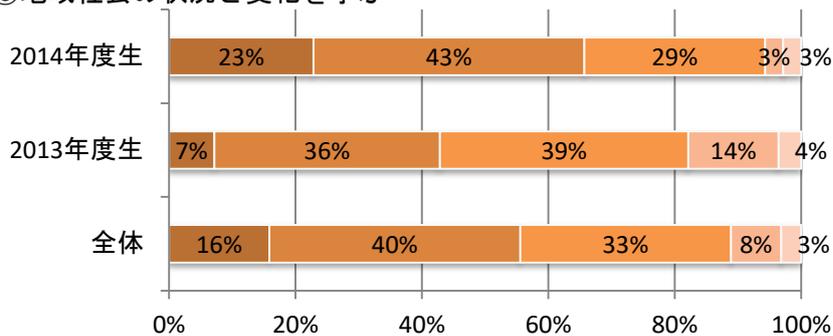
④ 科学的知識に基づき、専門知識や技術を効果的に活用した看護実践ができる能力を育成する



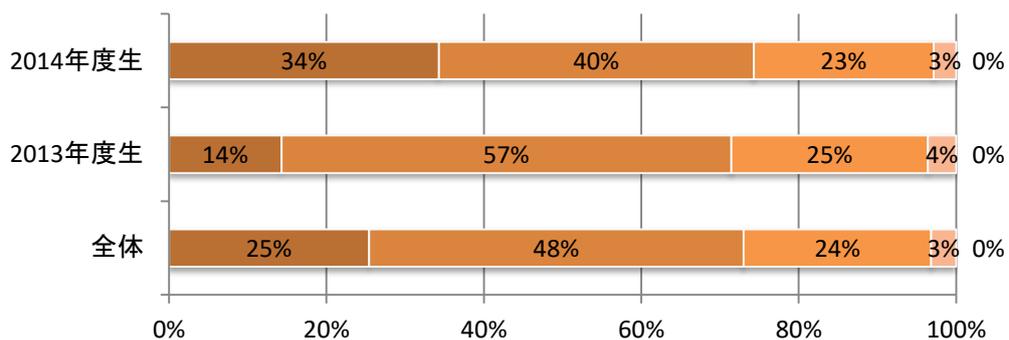
⑤ 倫理的判断に基づき、専門知識や技術を効果的に活用した看護実践ができる能力を育成する



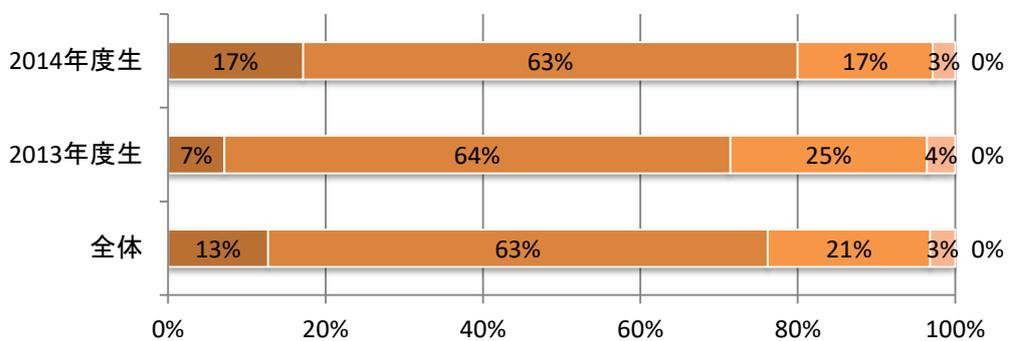
⑥ 地域社会の状況と変化を学ぶ



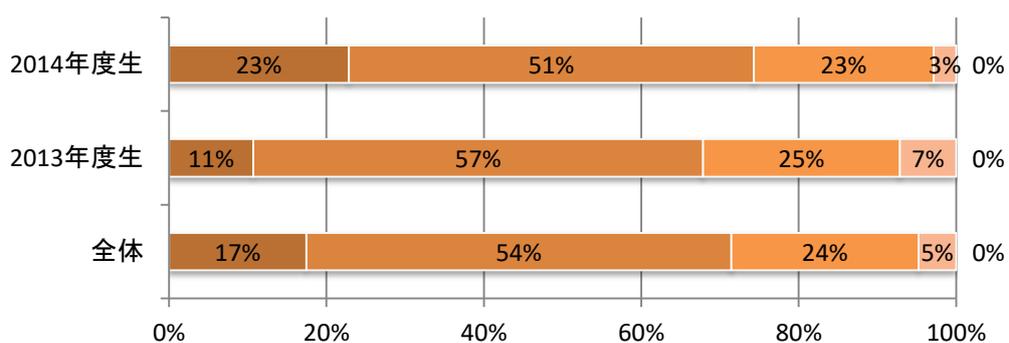
⑦多職種と連携・協働して人々のさまざまな健康課題に取り組むことができる能力を育成する



⑧看護職として専門能力を自律的に探求する



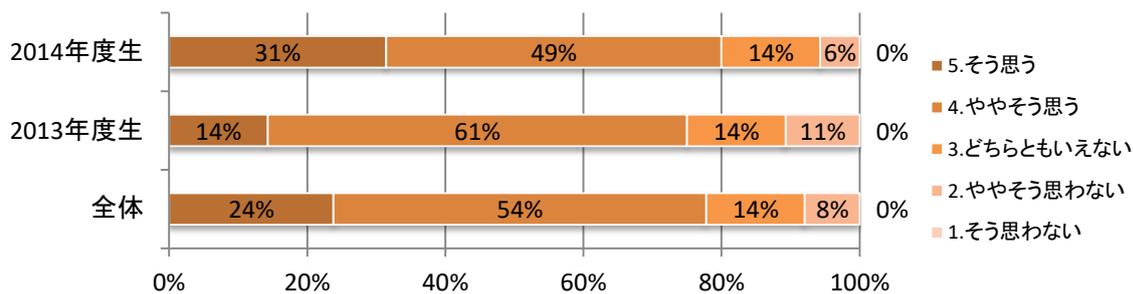
⑨看護職として専門能力を継続的に発展させる姿勢を育成する



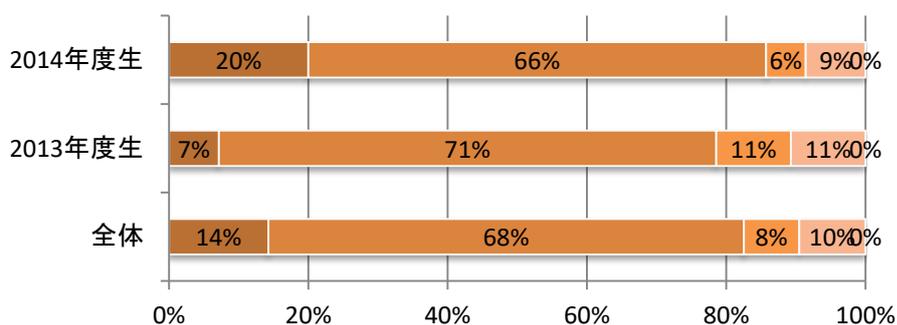
## 問6 進路・就職サポートについて

本学の進路・就職サポートについてあなたの満足度をお答えください。

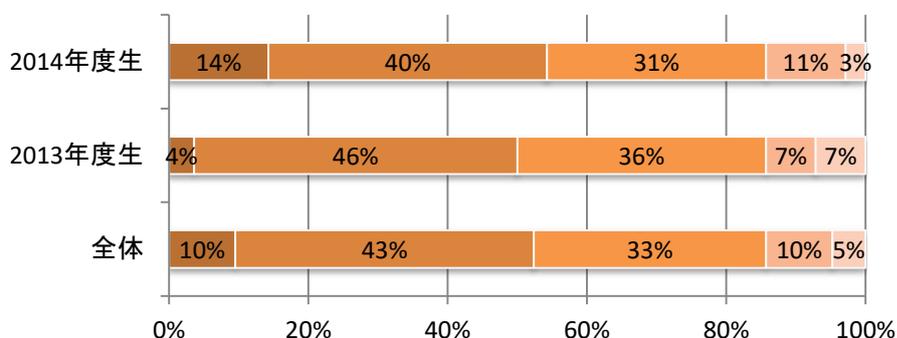
### ① 就職・進学について相談体制が整っていた



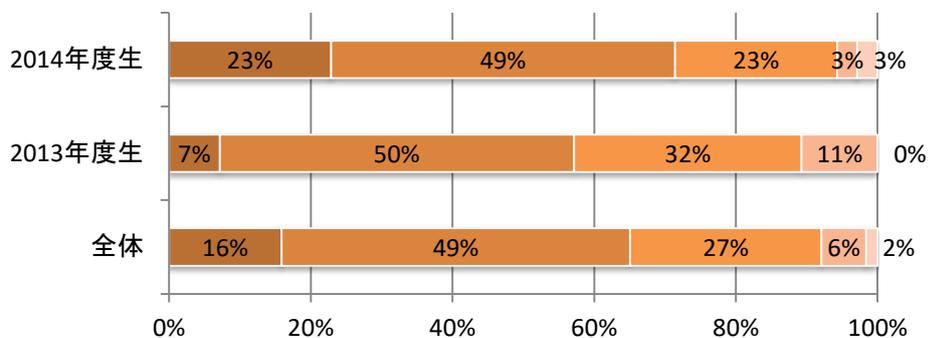
### ② 将来の進路について考える教育が充実していた



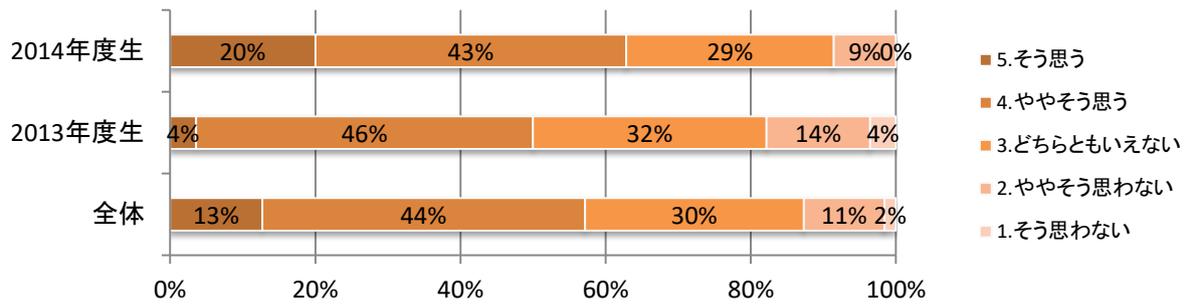
### ③ 卒業生の看護実践を知る機会が充実していた



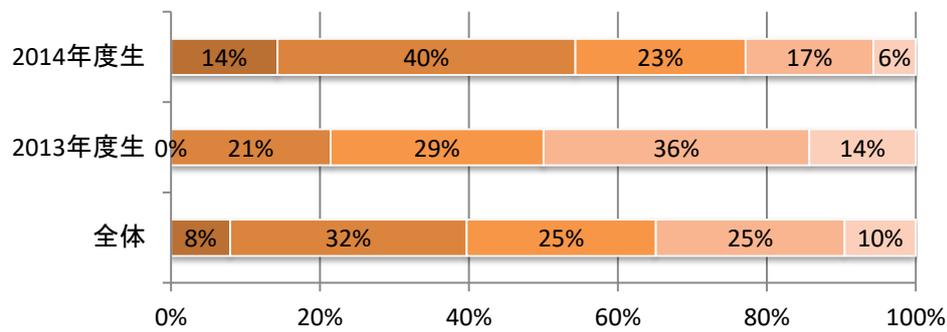
### ④ 就職・進学の資料や情報が豊富であった



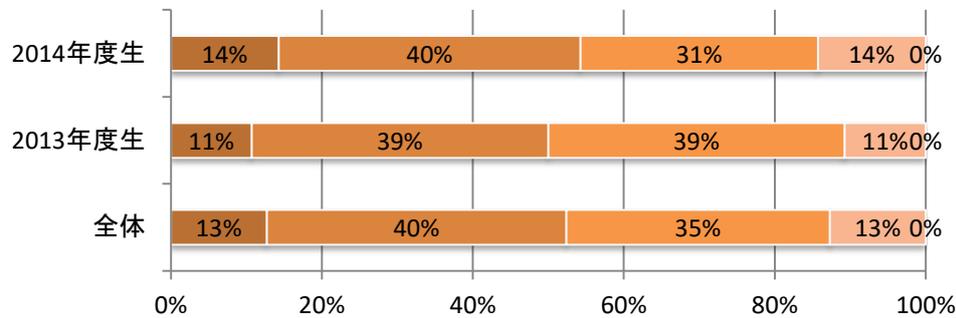
⑤就職サポートがきめ細やかであった



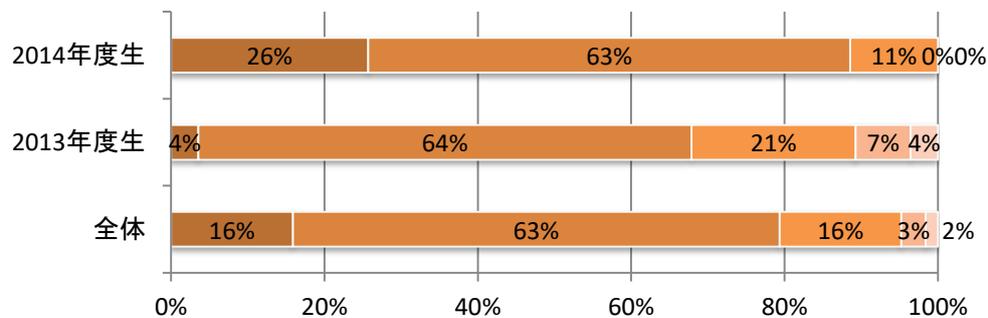
⑥キャリアサポートルームは利用しやすかった



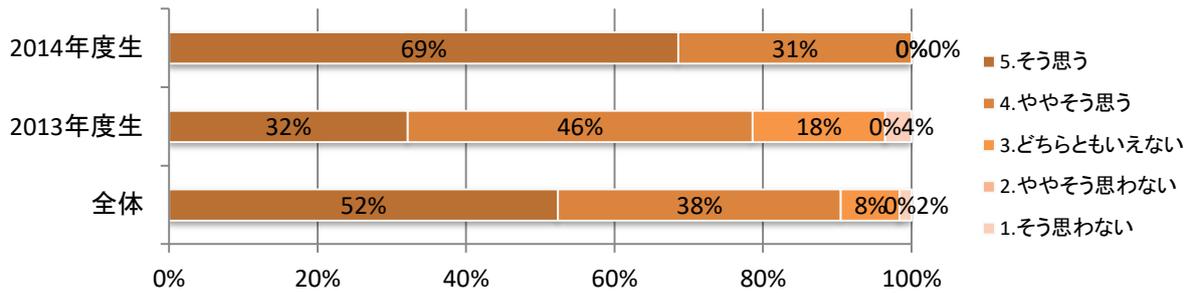
⑦インターンシップなど学外での職場体験制度の案内が充実していた



⑧就職ガイダンスは将来を考えるうえで役に立った



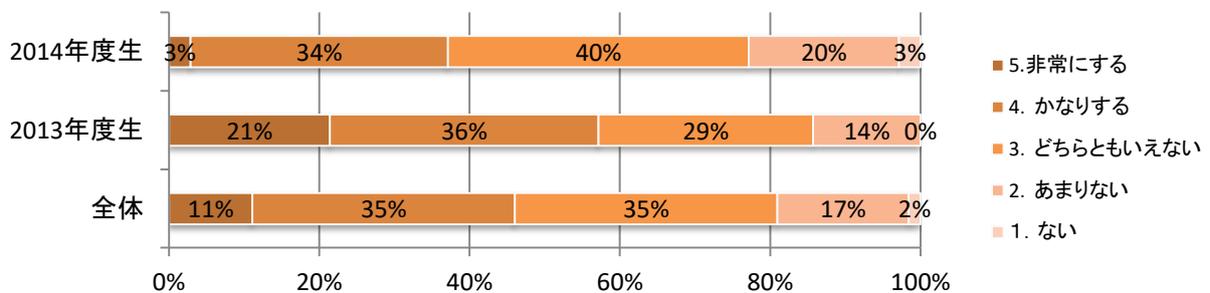
⑨ 国家試験対策に関する支援は役に立った



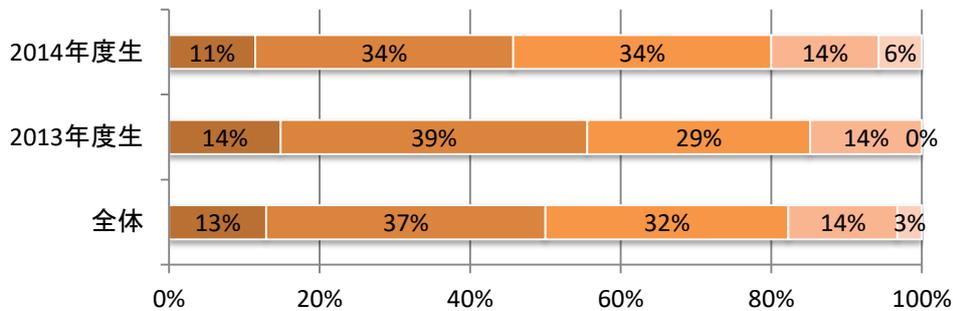
問7 看護学部において改善を必要とすることや期待することについて

下記の項目についてあなたが改善を必要とすることや期待することを教えてください。

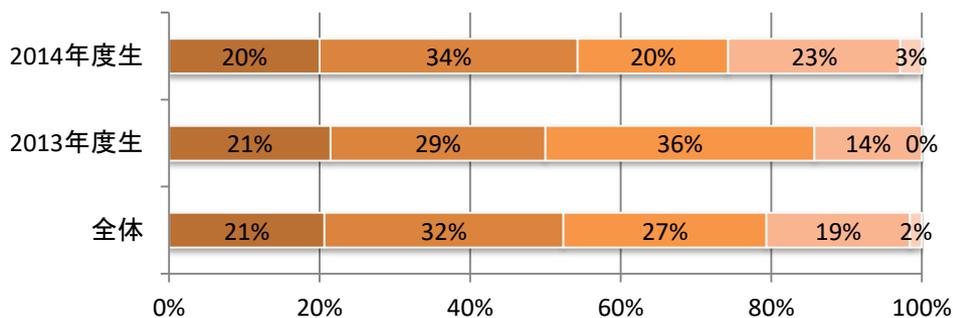
① 教育カリキュラムの充実



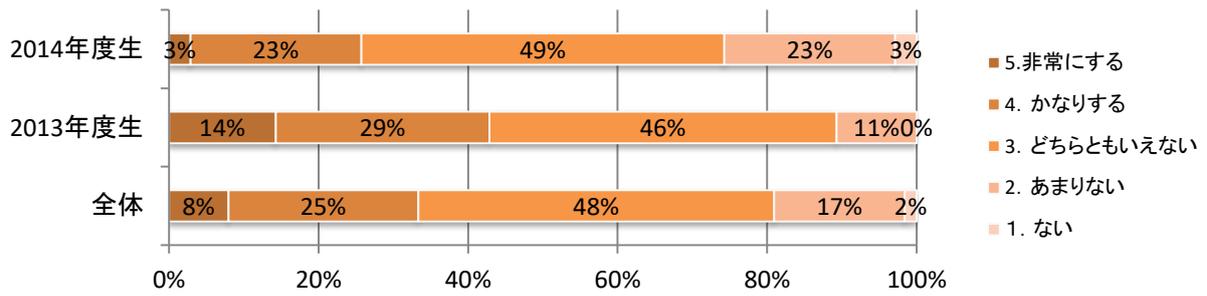
② 臨床・臨地との協力



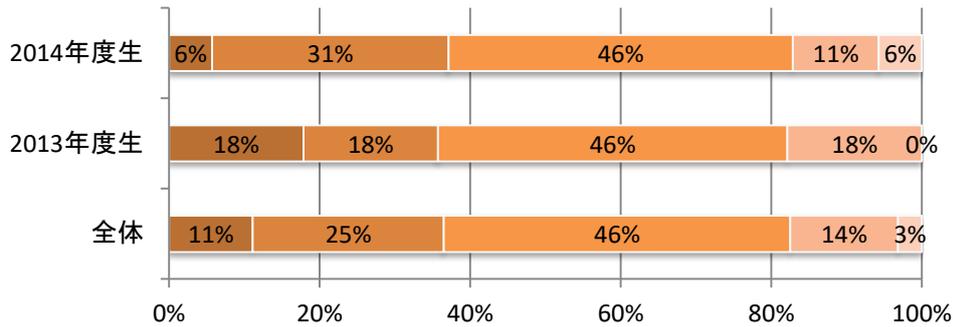
③ 図書館の充実



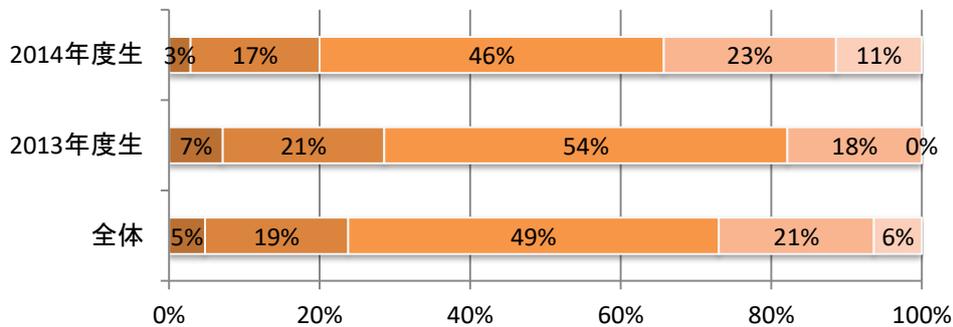
④公開講座の充実



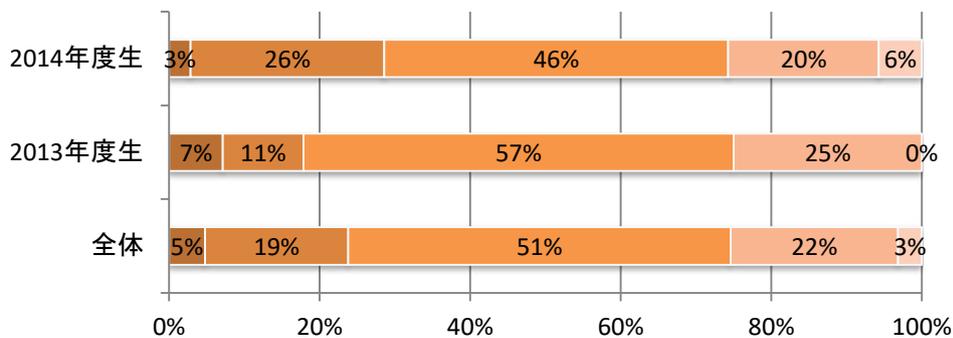
⑤卒後の教育支援



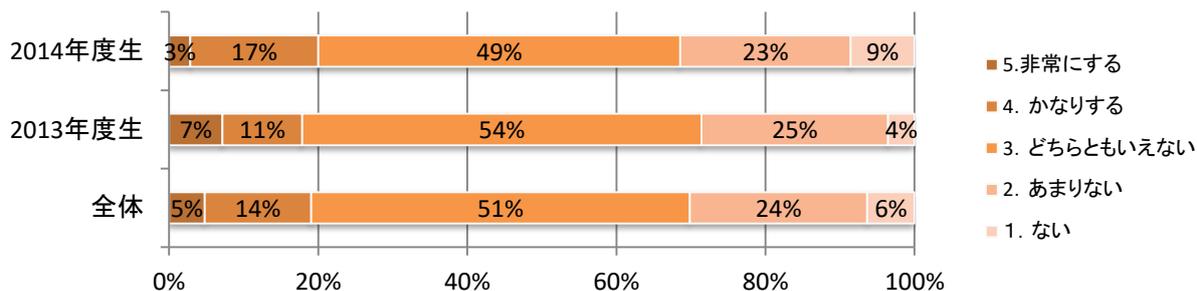
⑥研究機関としての発展



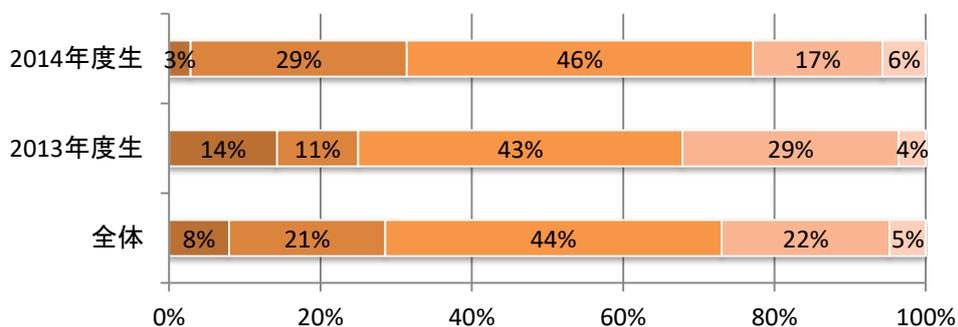
⑦地域貢献



⑧同窓会活動への支援



⑨大学からの情報発信



⑩その他

